

# 健康 コラム

## ろうご 今後のために知っておきたい！ 認知症の画像診断



まつはし ただあき  
**松橋 忠昭**

秋田厚生医療センター 診療放射線科  
診療放射線技師長

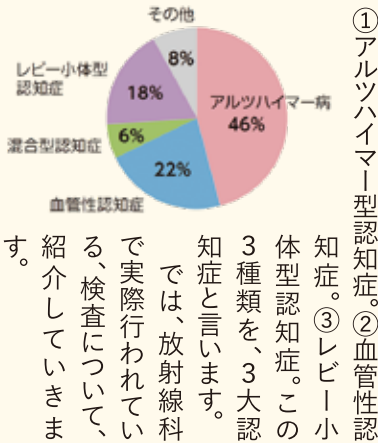
### 高齢化と認知症

秋田県の認知症高齢者数は、2020年10月時点で約62,900人(高齢者の約6人に1人)と推計されています。高齢化の進行により、認知症有病者も増加すると予想されることから、2025年には、高齢者の約5人に1人、2040年には高齢者の約4人に1人が、認知症有病者に該当すると見込まれます。また、正常と認知症の間ともいえる「軽度認知障害」の状態にある高齢者は、令和2年10月時点で約46,500人と推計されています。(秋田県第8期介護保険事業支援計画・第9期老人福祉計画より)

### 認知症に関わる放射線検査

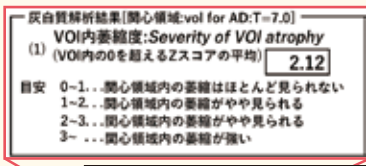
認知症の増加に伴い、放射線科で扱われる、画像検査数も増加してきております。今回は、認知症診断の補助となる、放射線検査について紹介させていただきます。

認知症と一言で言っても、いろいろな種類が有ることをご存じですか？



### VS RAD(ブイエスラド)

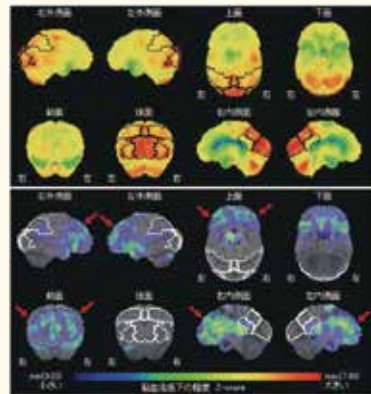
MR I画像を用いて海馬傍回(かいぼうかい)付近における、脳の萎縮の度合いを数値化する検査です。海馬傍回とは、記憶の形成・保持・再生をつかさどる領域で、アルツハイマー型認知症では、もともと早期に萎縮がみられます。この領域は非常に小さく、人の目で萎縮を確認することは困難ですが、コンピュータにより解析する事で、萎縮度を数値化して評価します。



### ダットスキャン

放射性医薬品を投与して画像を得る核医学検査になります。レビー小体型認知症では、さまざまな症状がみられ、症状の現れ方にも個人差があるため、パーキンソン病やうつ病など、他の病気と混ざりやすく、症状だけでは

**最後に**  
日々の診療において、今回紹介した検査単独で、認知症を診断しているわけはありません。症状、血液検査、認知機能テスト、MRI、CT、核医学検査など、様々な情報を総合的に判断し、認知症の鑑別診断を行っていることを、ご承知おき下さい。



### 脳血流シンチ

こちらも核医学検査で、脳の血流状態を画像化します。この画像をコンピュータで解析して、血流分布、虚血や代謝機能の情報を得る事ができます。それぞれの認知症毎に、血流低下部位に違いがみられる事に着目し、鑑別していきます。